

# 冬眠明けのクマに注意！

春は、クマが冬眠から覚め、食べ物を求めて活発に行動します。  
県内の山はクマの生息地です。どこの山でもクマと出遭う可能性があります。  
これから山に出かける方は、クマと出遭わないよう、次のことにご注意ください。

山では、「クマに出遭わない」対策を実施しましょう！！  
昨年の人身被害は、山菜採りなどで起きています！

- 1 朝夕は山中に入らない。**
  - ・クマは朝夕に活発に動きます。
- 2 グループで行動する。**
  - ・山中では単独行動を避け、グループで声をかけあって活動し、クマに人の気配を伝えてください。
- 3 鈴、笛、ラジオなど音が出るものを携帯し、クマに自分の存在を知らせる。**
  - ・クマは聴覚や嗅覚が人より優れているため人の接近を察知し、人を避けます。
- 4 子グマを見たらそっと立ち去る。**
  - ・近くには必ず母グマがいます。母グマは子グマの危険を感じて人を攻撃することがあります。子グマがかわいいからと近づいたりしないでください。
- 5 山菜採りはほどほどに。**
  - ・山菜はクマも好物です。山菜の多いところにはクマもいることが多いので、足跡や糞などを見つけたら引き返してください。
- 6 不測の事態に備えて。**
  - ・注意をしてもクマと近距離で出遭う場合があります。防御策として、ヘルメットの着用が頭部の被害を軽減できます。また、接近してくるクマにはクマ撃退スプレーが効果的です。山仕事などで頻繁に入山する方は携行されることを勧めます。



ツキノワグマの足跡  
(前足と後ろ足)



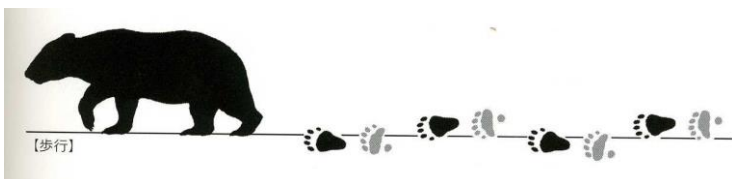
ツキノワグマの糞



クマ撃退スプレー

- ◆クマを目撃したりクマの痕跡を見つけた場合は、直ちに市町村に連絡してください。
- ◆クマ撃退スプレーは、登山用具店で購入することができます。

～ 富 山 県 ～



【参考文献】米田一彦（1996）「山でクマに会う方法」、米田一彦（1998）「生かして防ぐ クマの害」

今泉忠明（+平野めぐみ）（2004）「野生動物観察事典」